

2025 年度 妻ヶ丘幼稚園 2 学期園内自己評価

ひよこ組

— 2 学期の目標 —

- ◎ 保育者に助けられながら、身の回りのことに興味を持つ
- ◎ 簡単なルールや約束事が理解できるようになる

— 活動内容 —

おともだち大好き

(健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え・言葉による伝え合い)

- ・ 戸外遊びでは、固定遊具や砂場で中心に遊びやりたいことや、何か要求があると簡単な言葉や指差して保育者に伝えることがあった。
- ・ 玩具の貸し借りは難しく、トラブルになる事が多いため保育者が間に入り、「かして、いいよ」などの簡単なやりとりができるように伝えていった。
- ・ 個人差はあるが、言葉も増え始め、友だちの名前を呼んだり、友だちとの関りも見られるようになってきた。
- ・ 途中入園も多かったが、保育者との信頼関係を少しずつ築きながら、笑顔が徐々にみられるようになり、園生活を楽しむ姿が見られるようになった。



やってみたい！

(自立心、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、自然との関わり・生命尊重)

- ・ 運動会や発表会などの大きな行事では、音楽に合わせて体を動かす楽しさを味わい表現する姿が見られた。
- ・ トイレトレーニングをはじめ、興味を示す子どももいれば、拒む子どももあり、無理強いせず個々のペースを大切にしながら進めていった。
- ・ 衣服の着脱や簡単な身の回りの物の始末を保育者と一緒に繰り返し練習していった。できることが増えたり、保育者に褒められることで、自信や意欲に繋がっていった。



— 2 学期の反省 —

- ・ 遊具の使い方や、片付けの仕方などを覚え、保育者を仲立ちとして貸し借りができることも増えてきた。絵本が好きなのでもっと自由に絵本を選べる環境を考えていきたい。又、手が出てしまう子どもには、言葉にできない感情を保育者がくみ取りながら、仲立ちをし、気持ちが切り替えられるような言葉かけをしていきたい。
- ・ 身の回りのことをやってみようとする気持ちが増え、靴、靴下の着脱や自分の道具の片づけなどが少しずつできるようになってきた。
- ・ 誘導車を使って、園外散歩をしたかったが実現できなかった。

— 3 学期の目標 —

- ◎ 計画的に散歩などを取り入れ自然を感じ子ども達の刺激に繋げたい。
- ◎ 安心できる環境の中で園生活を楽しみ、友だちとの関わりを大切にしていく。